

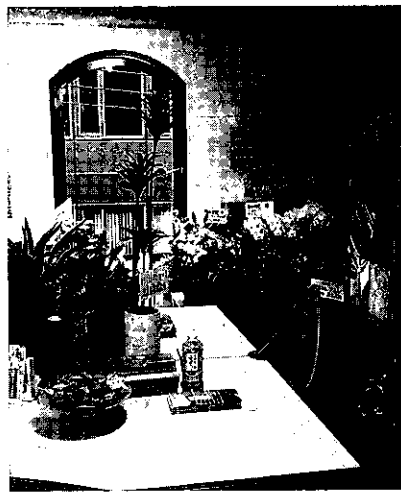
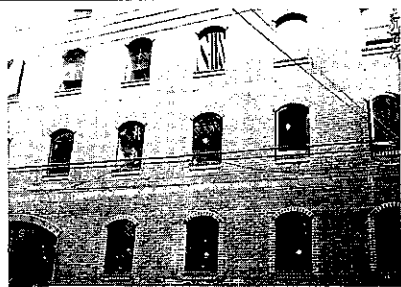
デザイン系クリエイターものづくり拠点

真創が開業

レターセットやカードをはじめとした紙雑貨をつくらせている真創(大阪

市)は、ブルースタジオ(東京)の企画・設計監理のもと、大阪市中央区博労町1-2-17の旧本ビル(1945年築)の一棟全面改修工事を行った。

このほど、自社オフィ



上は全面改修した旧本ビル、下はテナントの事務所

その斬新さがブームとなった。創業以来レターセットを中心に、紙や手紙を通じて人と人のつながりを大事にしたものづくりを行ってきた。

10月に同ビルで開催された活版印刷のイベントでは、2日で述べ1200人以上が来場し、東船場における「手仕事のものづくり拠点」として存

在感を全国にアピールした。1階は活版印刷スタジオと、憩いの場としての「ミニティーカフェ」が営業している。2階はテナント会社の共有の場で、1960年代に活躍した叙情画家の貴重な過去の製品や原画を展示

ている。

3階以上は事務所となっている。最初にテナントに応募したのは輸入

壁紙を専門に施工する「WALL」で、工業化された日本のビニールクロスにはない、ウォールペーパーの面白さを伝えていくことをモットーとしている。塗料とのコラボレーションにも関心を持っていくとのこと。

建物は鉄骨5階建。リノベーションの内容は、内装が床の土間塗装、壁・天井の塗装。その他耐震補強、アスベスト撤去を行った他、エントランスセキュリティ、会議室、給湯室の工事を

行った。